

竹内芳郎

監修 鈴木道彦・海老坂武
全6巻+補巻

友人・竹内芳郎を通して、私は本物の思想の厳しさを学んだ。日本の論壇に愛想を尽かした彼は、一九九〇年代から沈黙を守っていたから、今ではその真価を知る人も少ないだろう。この著作集の刊行は改めて、現代日本にも貴重な反省を促す彼のラディカルで強靱な思想を伝える機会となるに違いない。——鈴木道彦

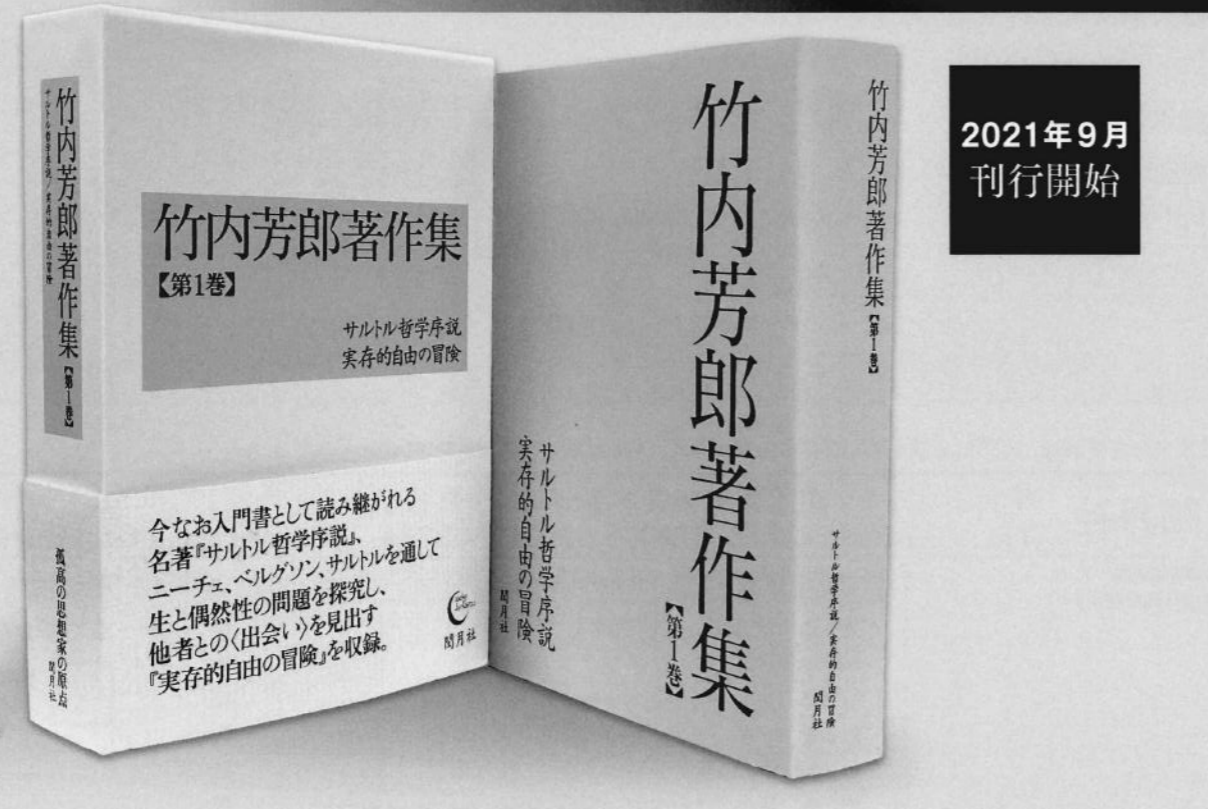
〈百花斉放〉の1960年代、戦争責任、天皇制、国家、民主主義など戦後思想の課題が多くの論者に取り上げられた。竹内芳郎もまたその一角を占め、その後は言語論、文化理論に切り込んでいく。根底的な思索—言語表現に接する喜びが、この著作集を通して、新たな読者に広く分かたれることを願っている。——海老坂武



竹内芳郎 たけうち・よしろう

1924~2016
哲学者。討論塾主宰。
岐阜県生まれ。1943年東京帝国大学法学部入学。学徒出陣で出征し、戦後法学から倫理学に転じてニーチェを研究。1952年東京大学文学部卒業。サルトルやメルロー＝ポンティを日本に紹介する。國學院大學で教鞭をとりつつ、言論活動を展開。マルクス主義を自らの視点で再構築し、さらにその思想の射程は文化論から記号学、言語論、普遍宗教論にまで及ぶ。日本の欺瞞的社会様式を「天皇教」と捉え、晩年にいたるまで鋭く批判、その実践の場として〈討論塾〉を主宰し、死の直前まで携わる。

著作集



2021年9月
刊行開始

竹内芳郎著作集
【第1巻】

サルトル哲学序説
実存的自由の冒険

今なお入門書として読み継がれる名著『サルトル哲学序説』。ニーチェ、ベルグソン、サルトルを通して、生と偶然性の問題を探究し、他者との〈出会い〉を見出す『実存的自由の冒険』を収録。

閏月社

〒113-0033
東京都文京区本郷3-28-9白石ビル
TEL: 03-3816-2273 / FAX: 03-3816-2274
http://www.jungetsusha.com

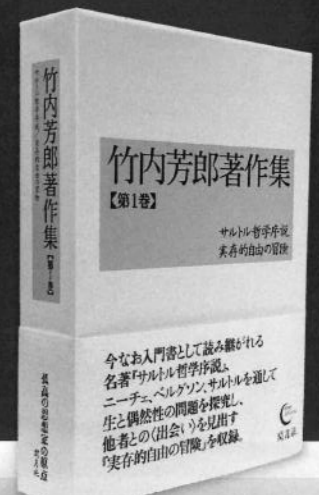
A5判 / 560ページ / 上製函入
定価 各巻予価6,200円
* ページ数、価格は巻により増減します。

竹内芳郎 著作集

全6巻+補巻

監修 鈴木道彦・海老坂武

A5判 / 560ページ / 上製函入
定価 各巻予価6,200円
* ページ数、価格は巻により増減します。



各巻内容

第1巻 サルトル哲学序説
実存的自由の冒険 ニーチェからマルクスまで

第2巻 サルトルとマルクス主義
『弁証法的理性批判』をめぐる
イデオロギーの復興
マルクス主義の運命

第3巻 文化と革命
国家の原理と反戦の論理
国家と民主主義

第4巻 増補 言語・その解体と創造
国家と文明 歴史の全体化理論序説
課題としての〈文化革命〉
現代革命論の諸展開

第5巻 現代革命と直接民主制
文化の理論のために 文化記号学への道

第6巻 具体的経験の哲学 現代哲学思潮批判
意味への渇き 宗教表象の記号学的考察
ポスト=モダンと天皇教の現在
現代文明崩壊期に臨んで

補巻 断簡・遺稿・ほか



◎ご注文のお客様は、以下に必要事項をお書き添えのうえ、書店にお申し込みください。

閏月社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-28-9白石ビル
TEL: 03-3816-2273 / FAX: 03-3816-2274 http://www.jungetsusha.com

書店様番線印
(取次: JRC 経由)

竹内芳郎著作集 ISBN978-4-904194-以下に記載 C3310 定価 各巻予価6,200円 2021年夏刊行開始

第1巻	サルトル哲学序説ほか	51-5	冊
第2巻	サルトルとマルクス主義ほか	52-2	冊
第3巻	文化と革命ほか	53-9	冊
第4巻	増補 言語・その解体と創造ほか	54-6	冊
第5巻	現代革命と直接民主制ほか	55-3	冊
第6巻	具体的経験の哲学ほか	56-0	冊
補巻	断簡・遺稿・ほか	57-7	冊

← 第1巻 お申し込み
 続刊の定期配本を希望
JRC (FAX: 03-3294-2177)

お名前

郵便番号・ご住所・お電話番号